掃　除　機

取扱説明書

＊1

形名
イー　シー　ブイ エックス
EC-VX2

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

＊1 除菌イオンの効果試験

試験機関	(財)石川県予防医学協会
測定方法	室温25℃・湿度42％・4.5畳相当の空間で、掃除機の排気口から1m後方、床面から1.1mでの気中浮遊カビ菌数を測定。
除菌方法	除菌イオンを空気中に放出。

もくじ

ページ

安全上のご注意

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくために、いろいろな表示をしています。
内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■「表示」を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。	注意 「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、「図記号」で区分して説明しています。

「してはいけないこと」を表しています。	「しなければならないこと」を表しています。

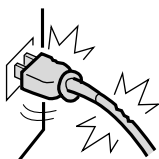
警告

電源や差込プラグ・コードは

禁止

●電源コードや、差込プラグを破損させない。
- 回転ブラシの回転部分に巻き込ませない。
- 傷付けない・重いものを載せない。
- 無理に曲げない、引っ張らない・ねじらない・束ねない・挟み込まない・加工しない。

(コードが傷み、火災・感電の原因)

●ゆるんだコンセントは使わない。
●ぬれた手で抜き差ししない。
●差込プラグ・電源コードが傷んだ場合は使わない。
(感電・ショート・発火・けがの原因)

必ず実施

●定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う。
(他の器具と併用すると、発熱して発火の原因)

●差込プラグのほこりは定期的にとる。
プラグを抜き、乾いた布で拭く。
(プラグにほこりなどが溜ると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因)

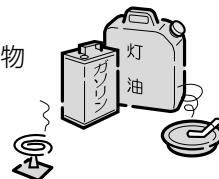
●差込プラグは、根元まで確実に差し込む。
(不完全な差し込みは、火災・感電・ショートの原因)

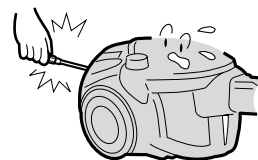
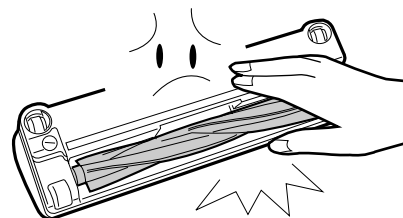
●お手入れ・点検時には、必ず差込プラグを抜く。
(感電やけがの原因)

使用場所・ご使用時は

禁止

●引火性のあるもののそばで使用しない、吸わせない。
- 灯油・ガソリン・線香
- ベンジン・シンナー
- タバコの吸殻
- トナーなどの可燃物など

(爆発や火災の原因)

●水洗いや風呂場などでの使用、水の吸い込みは絶対にしない。
(感電やショート・発火の原因)
ダストカップセット (フィルターカバー以外)・回転ブラシは、水洗いできます。

●絶対に分解したり修理改造しない。
(火災・感電・けがの原因)

●回転ブラシや、ローラースイッチ(セーフティーストップ機構)には触れない。
(手などにけがをする原因)
とくにお子様にはご注意を。

お願い

火災・感電・漏電・けがを
防ぐために

⚠ 注　意

ご使用時は

禁止

●排気口をふさがない。
●吸込口をふさいで長時間運転しない。
(過熱による、本体の変形・
発火・火災の原因)

●火気に近付けない。
(本体の変形による、ショート・発火の
原因)

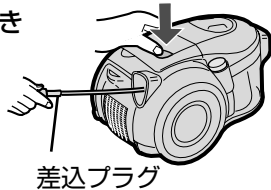
●ホース差込口・ホース・ズームパイプの接点・排気口に、金属類・ピンなどを入れない。
(感電や故障の原因)

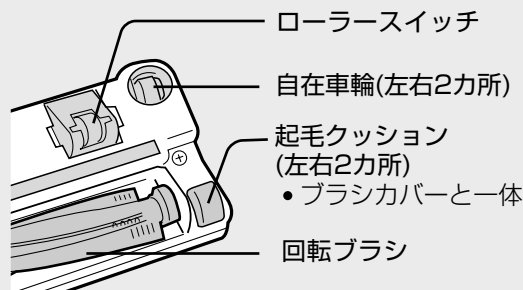
電源や差込プラグ・コードは

必ず実施

●電源コードを巻き
取るときは、
差込プラグを
持つ。
(プラグが当って、
けがをする原因)

●差込プラグを抜くときは、必ず差込プラグを持って抜く。
(感電やショートし、発火する原因)

●使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。
(けがややけど、絶縁劣化による、感電・
漏電・火災の原因)

吸込口裏面のローラースイッチ・自在車輪・起毛クッションが摩耗していると、床面を傷めることがあります。

摩耗した場合は、お早めにご使用を中止し、
お買いあげの販売店にご相談ください。

こんなことにもご注意を

●吸わせてはいけないもの。
(内部の傷付きやごみの詰まり・故障の原因)
- 液体や湿ったごみ
- ひも類
- 鋭利なもの(ガラス・カミソリなど)
- 大量の砂
- 大きなごみ・大量のごみを一度に吸わせる
- 細かい粉類
  (石こう・セメント・チョークなど。
  • 吸わせた場合は、各フィルターを
  お手入れする。16～18ページ)

●ダストカップセットを、はずした状態で運転しない。

●土間など土足で歩く場所を掃除しない。

●床面や敷居の段差、家具や壁などに吸込口を強く当てない。
(床面などを傷付ける原因)

●回転ブラシに注油しない。
(プラスチックが割れる原因)

●運転中、テレビの画面にノイズが発生することがありますが、テレビ本体に影響はありません。

●この掃除機は家庭用です。
業務用としての使用はできません。
また、お掃除以外に使用しないでください。

各部のなまえと組み立てかた

ページ 内の数字は主な説明のあるページを示します。

付属品

本体の上面と背面

- 電源コードを引き出すときは電源コード根元の赤マーク以上引っ張らないでください。
断線の原因になります。

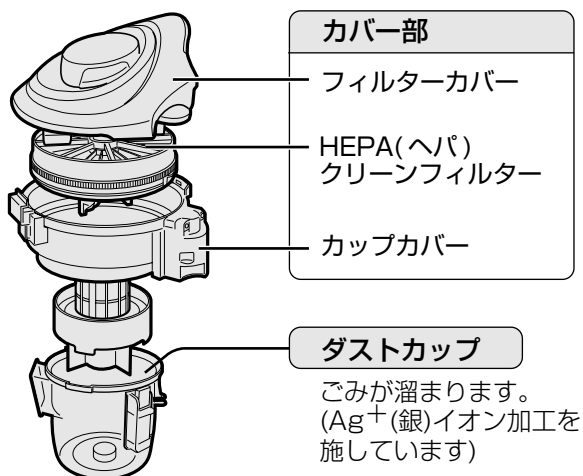
運転中ここから除菌イオンが出ます。
除菌イオンが出るときに、小さな「チチチ」音がします。

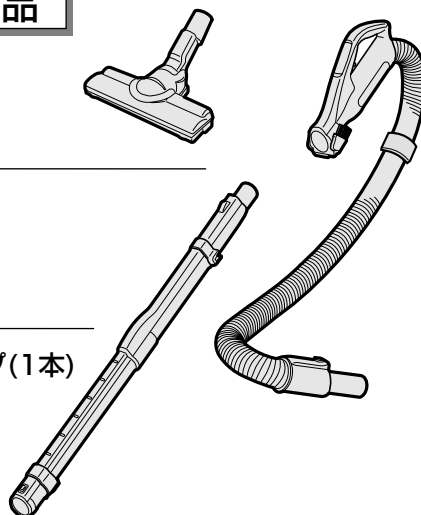
排気口
(アレルディフェンスフィルター内蔵)
お手入れは不要です。(取りはずせません)

お知らせランプ 10〜11 ページ

ダストカップセット 14〜18 ページ

カバー部とダストカップに分かれます。

ごみが溜まります。
(Ag＋(銀)イオン加工を施しています)

標準付属品

- 吸込口(1個)
- ホース(1本)
- ズームパイプ(1本)

応用付属品

- ベンリブラシ
(梱包時、手元パイプに装着1個)
- 2段伸縮すき間ノズル(1本)
- ベンリホース(1本)
- つぎ手パイプ(1個)
- ベンリフック(1個)
- ベンリヘッド(1個)
- クリーニングブラシ(1個)
- ホースフック(1個)

●印刷物付属品 (各1部)

- 取扱説明書　● 保証書

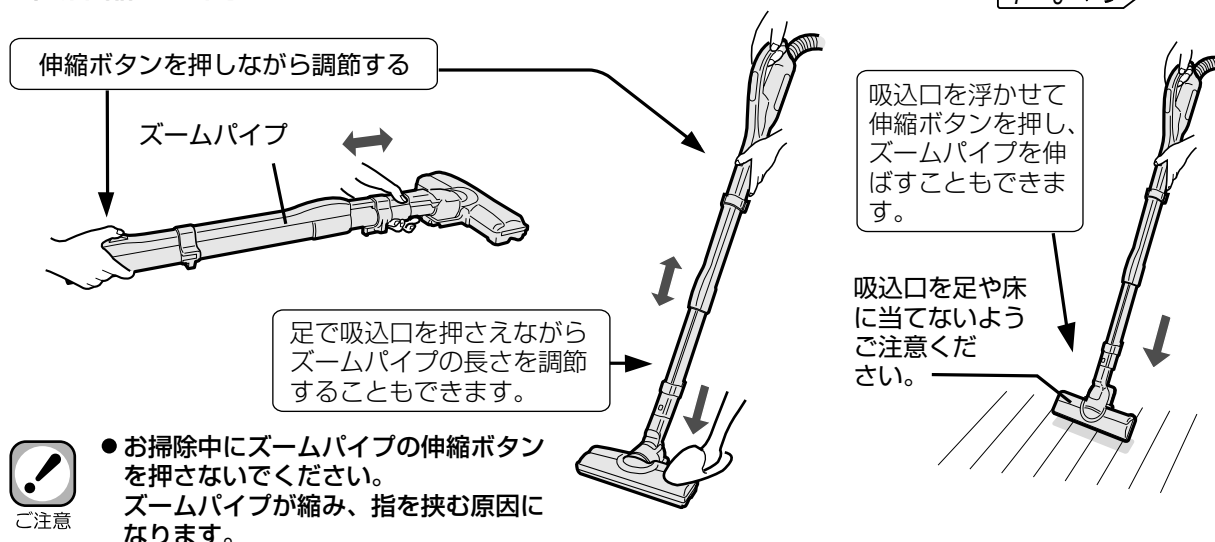
※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はありません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

お掃除のしかた

お掃除の手順

1

お掃除に合わせてズームパイプの長さを調節し、吸込口・ベンリブラシ・2段伸縮すき間ノズル・ベンリヘッドのいずれかを取り付ける。 7～9 ページ

● **お掃除中にズームパイプの伸縮ボタンを押さないでください。ズームパイプが縮み、指を挟む原因になります。**

2

差込プラグをコンセントに差し込み、
目的に合わせて「お掃除モード」や、「ブラシ切/入」を選ぶ。

最初に「強/中」ボタンまたは「やさしさモード」ボタンを押すと、自動的に吸込口の回転ブラシが回転します。(最初に「ブラシ切/入」だけを押した場合は運転しません)

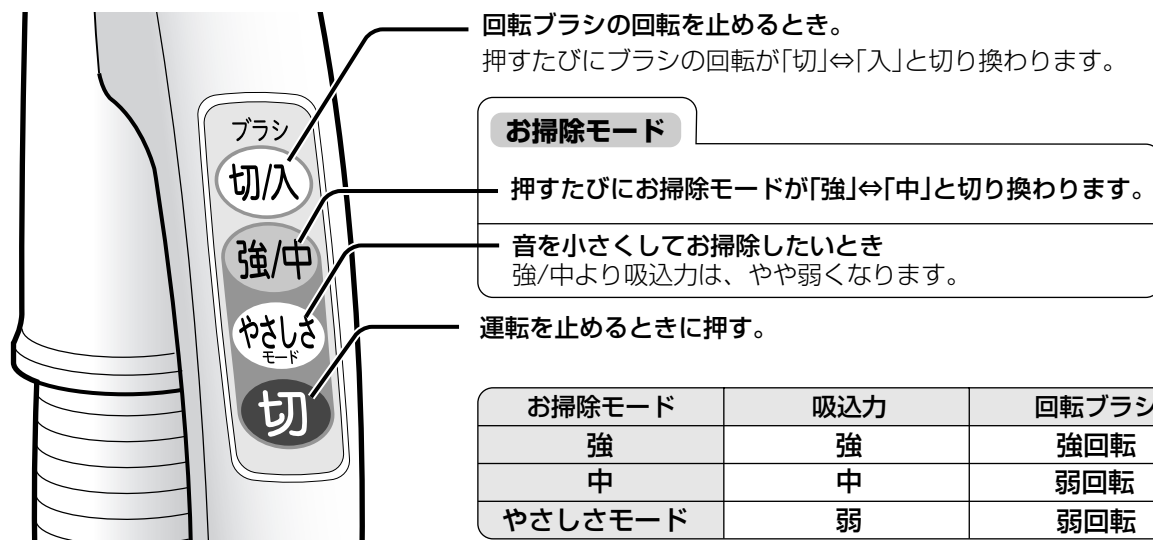
回転ブラシの回転を止めるとき。
押すたびにブラシの回転が「切」⇔「入」と切り換わります。

お掃除モード

押すたびにお掃除モードが「強」⇔「中」と切り換わります。

音を小さくしてお掃除したいとき
強/中より吸込力は、やや弱くなります。

運転を止めるときに押す。

お掃除モード	吸込力	回転ブラシ
強	強	強回転
中	中	弱回転
やさしさモード	弱	弱回転

3

お掃除が終われば「切」ボタンを押す。

お知らせ音(ピーピー)が鳴って、フィルター自動クリーニングが始まります。 10 ページ

4

差込プラグを抜き、
ダストカップのごみを捨てる。 14 ページ

吸込口を使う

じゅうたんのお掃除に

お掃除モード「強」で動作する。

① まず一定方向に
② 次に直角方向に
③ 最後に残った隅を

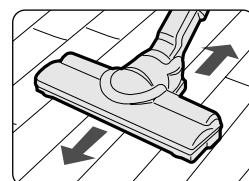
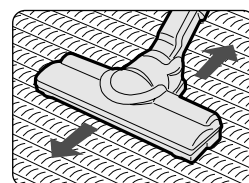
お掃除します。

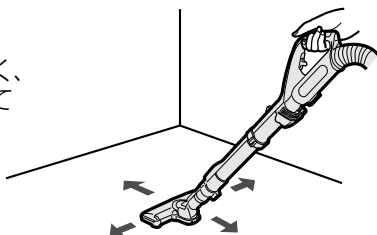
床・たたみのお掃除に

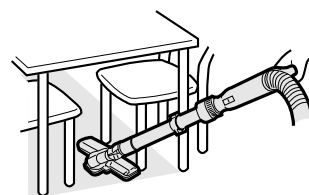
お掃除モード「中」で動作する。

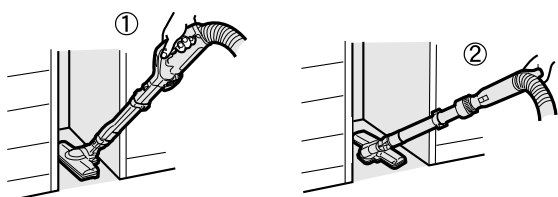
(から拭き掃除)

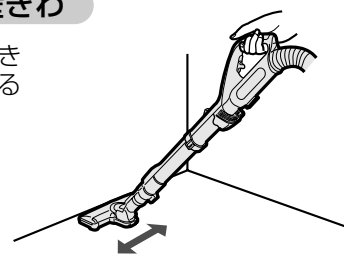
床やたたみの目にそって軽くすべらせます。
(傷付き防止のため)

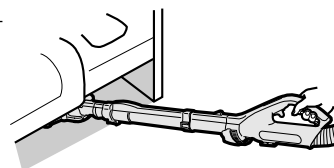
床の場合

たたみの場合

広い所

前後のお掃除だけでなく、吸込口を左右に動かしてお掃除すると便利です。

テーブルの下

吸込口をたて向きにしてお掃除すると、椅子を動かす手間が省け、便利です。

家具と家具のすき間

吸込口をたて向きにして、①·② の両方向ですき間をお掃除すると、ごみがよく取れます。

お部屋の隅や壁ぎわ

壁ぎわに吸込口の向きを合わせてお掃除すると便利です。

ベッドの下など

ズームパイプを寝かせると水平になり、楽にお掃除できます。

- じゅうたんやたたみを傷めないように、吸込口は同じ場所で長く使ったり押し付けないでゆっくり動かしてください。
- 吸込口が密着するようなじゅうたん・玄関マットなどは「やさしさモード」でお掃除してください。
「強/中」でお掃除すると、吸込口が吸い付いて操作が重くなったり、回転ブラシが止まることがあります。
(自動停止機能) 22 ページ
- 新築などのワックスがけされた床は吸込口の移動で、光沢に差ができることがあります。
その場合は、絞った布で拭き取り、ワックス拭きをし、乾燥させてください。
- はじめてお使いのときは回転ブラシのかき出しで、ダストカップにじゅうたんの遊び毛などが多く吸い込まれますので、こまめにごみを捨ててください。

お掃除のしかた

ベンリブラシ・2段伸縮すき間ノズル・ベンリヘッドは、手元パイプとズームパイプに付けられます。

応用付属品を使う

1 着脱ボタンやズームパイプ着脱レバーで吸込口やズームパイプをはずす。4 ページ

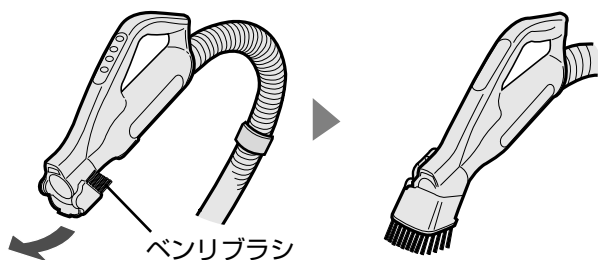
2 ベンリブラシ・2段伸縮すき間ノズル・ベンリヘッドのいずれかをセットする。

3 お掃除モードを「中」にする。

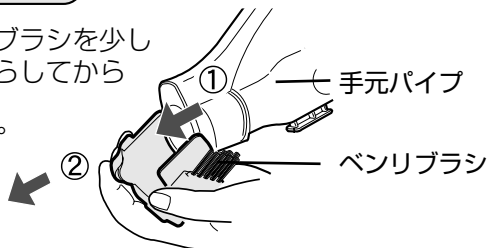
家具のすき間やサッシなどのお掃除に

ベンリブラシ

使いかた

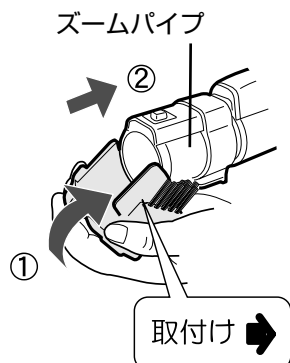
ベンリブラシを手前に回転させる。

手元パイプからはずす場合

はずしかた

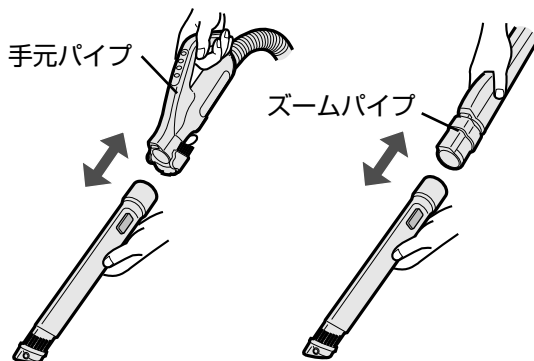
① ベンリブラシを少し前にずらしてから
② はずす。

●ベンリブラシをたたんで付け替えてください。

ズームパイプに付け替える場合

付けかた

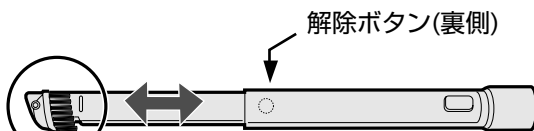
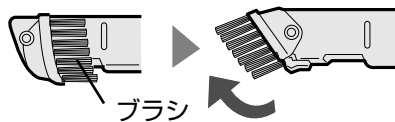
① 手元パイプまたはズームパイプの先にベンリブラシを「取付け ➡」の方向に少し引っ掛ける。
② カチッと音がするまで差し込む。

2段伸縮すき間ノズル

付けかた

2段伸縮すき間ノズルを奥までしっかり差し込む。

伸ばすとき

カチッと音がするまで伸ばす。

短くするとき

解除ボタンを押しながら縮める。

●縮めるときは指を挟まないよう、ご注意ください。

- ベンリブラシ・2段伸縮すき間ノズル・ベンリヘッドはピアノなど傷付きやすいものには使用しないでください。
- 吸込口をはずしてお掃除するときは、必ずベンリブラシ・2段伸縮すき間ノズル・ベンリヘッドを取り付けてください。
取り付けずにお掃除すると、傷付きや故障の原因になります。
- ベンリブラシ・2段伸縮すき間ノズル・ベンリヘッドは、汚れたら水洗いしてください。
(しっかり水を切り、風通しのよい日陰で十分に乾燥させてからご使用ください)
- 手元パイプにベンリブラシが付いたままで2段伸縮すき間ノズルやベンリヘッドを使うときは、ベンリブラシを手元パイプの裏側に戻して、2段伸縮すき間ノズルやベンリヘッドを差し込んでください。

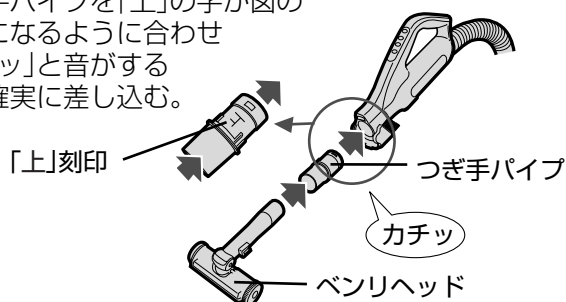
ペットの抜け毛・衣類やふとん、車のシートなどのお掃除に

ベンリヘッド

ベンリヘッドやベンリホースは、しっかり差し込みます。

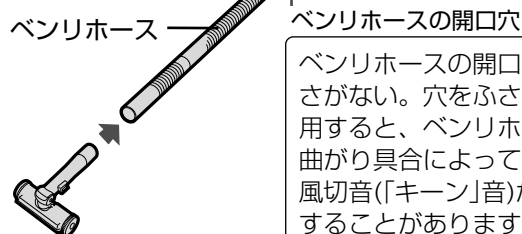
手元パイプで使う場合

付けかた

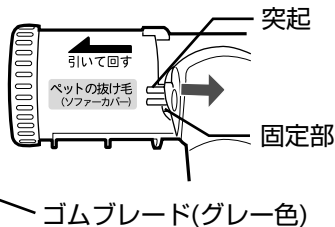
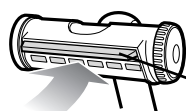
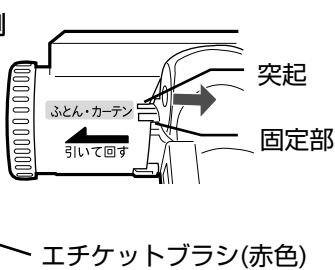
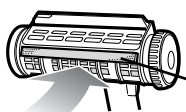
つぎ手パイプを「上」の字が図の向きになるように合わせ「カチッ」と音がするまで確実に差し込む。

ベンリホースを使う場合

付けかた

つぎ手パイプと、ベンリヘッドの間にベンリホースをつなぐ。

ベンリホースの開口穴をふさがない。穴をふさいで使用すると、ベンリホースの曲がり具合によっては、風切音(「キーン」音)が発生することがあります。

はずしかた

手元パイプのズームパイプ着脱レバー(赤色)を引きながら、つぎ手パイプを抜く。4 ページ

吸込口の切り替えかた

③「ペットの抜け毛(ソファーカバー)」側の突起をパイプ部の固定部に差し込み、吸込口をゴムブレード側にする。
- からみついたペットの毛や毛髪などをゴムブレードで引き出して、吸い取る。

③「ふとん·カーテン」側の突起をパイプ部の固定部に差し込み、吸込口をエチケットブラシ側にする。
- エチケットブラシで糸くずやほこりを取り除いて、吸い取る。

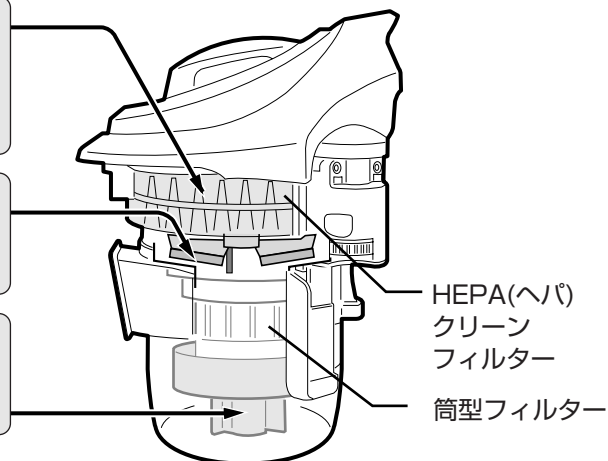
お掃除のしかた

フィルター自動クリーニング

全自動クリーンメカ

HEPA(ヘパ)クリーンフィルターメカ
本体内部の小型モーターによりメカが回転し、フィルターに振動を与えて、フィルターに付着した微細なほこりを落とします。

チリ落としワイパー
HEPA(ヘパ)クリーンフィルターから落ちたほこりを、ダストカップ内に掃き落とします。

ごみミキサー
ミキサーが回転することで、ダストカップ内に溜ったごみをかくはんさせ、ごみの片寄りを減らします。

お願い

- フィルター自動クリーニング中は、ダストカップセットと、差込プラグを抜かないでください。

お知らせランプ

ごみの溜り具合や、フィルターの目詰まり具合によって、お知らせランプの色が変化し、ごみ捨て時期や、フィルターの目詰まりをお知らせします。

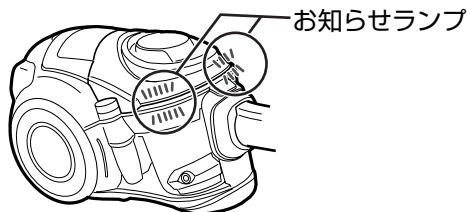



表　示	内　容
青点灯	運転中(通常)
青点滅	フィルター自動クリーニング中
紫点滅	ごみ捨てサイン
赤点滅	クリーニングサイン

- ダストカップセットが本体に取り付けられていない状態で、フィルター自動クリーニングをおこなったときは赤点滅します。
  ダストカップセットを取り付けてください。

クリーニングサイン (お知らせランプ：赤点滅)

筒型フィルターやHEPA(ヘパ)クリーンフィルターが目詰まりすると、お知らせランプが赤に点滅し、お知らせ音が鳴ります。

クリーニングサインが出たら以下の処置をしてください。

① **運転を止めて差込プラグを抜き、ダストカップのごみを捨てる。** 14 ページ

② **筒型フィルター・HEPA(ヘパ)クリーンフィルターをお手入れする。** 16〜18 ページ

お願い

- 続けてお掃除したいときは、2分以上たってからおこなってください。
  (2分以内に再開すると、再びクリーニングサインが出ます)
- 室温やお掃除モードなどにより、クリーニングサインが出ないまま吸い込みが弱くなることがあります。
  その場合も同様にお手入れしてください。

お掃除終了後、「切」ボタンを押すと、全自動クリーンメカが動き、HEPA(ヘパ)クリーンフィルターを自動でお手入れします。

こんなときは

●**フィルター自動クリーニングだけをしたいとき**
差込プラグをコンセントに差し込み「フィルタークリーニング」ボタンを1秒以上押すと、フィルター自動クリーニングが始まり、約8秒間クリーニングします。

●**フィルター自動クリーニングを途中で止めたいとき**
手元スイッチの「切」ボタンまたは本体の「フィルタークリーニング」ボタンを押してください。
「フィルタークリーニング」ボタンを1秒以上押すと、フィルター自動クリーニングが始まります。
ご注意ください。

●**お掃除後のフィルター自動クリーニングを設定しないとき**
- 差込プラグをいったん抜いてから再度コンセントに差し込み、「切」ボタンを5秒以上押してください。
お知らせ音「ピーッ」で解除完了 → お掃除終了後、クリーンメカが自動で動作しません。
フィルター自動クリーニングを設定しないときは、ごみ捨てセンサーとごみ捨てサインも動作しません。
- 再度、お掃除後のフィルター自動クリーニングを設定する場合も同じ操作をしてください。
お知らせ音「ピーピー」で設定完了 → お掃除終了後、クリーンメカが自動で動作します。

お願い

●フィルター自動クリーニングをおこなわない場合は、定期的にフィルターのお手入れをしてください。
16〜18 ページ

ごみ捨てサイン（お知らせランプ：紫点滅）

ごみ捨てセンサーがダストカップ内のごみ量を検知しダストカップ内のごみがゴミ捨てラインまで溜ると、お知らせランプが紫色に点滅し、お知らせ音が鳴ります。

運転中にお知らせランプが紫色に点滅したら「切」ボタンを押し、運転を止めてください。
(自動クリーンメカが動作します)

● **自動クリーンメカ動作後、再度お知らせランプが紫に点滅し、お知らせ音「ピーピーピー」が出た場合。**
ごみ捨て時期です。ダストカップ内のごみを捨ててください。

● **自動クリーンメカ動作後、ごみ捨てサインが出ない場合。**
ごみミキサーの効果により、もう少しごみを溜めることができます。

お願い

●自動クリーンメカ動作後に、ごみ捨てサインが出た場合は、すぐにごみを捨ててください。
そのまま使用すると、筒型フィルターにごみが付着し、吸引力が低下する場合があります。
●ごみの溜り具合によっては、運転終了後(自動クリーンメカ動作後)のみに、ごみ捨てサインが出ることがあります。
その場合も同様にダストカップのごみを捨ててください。

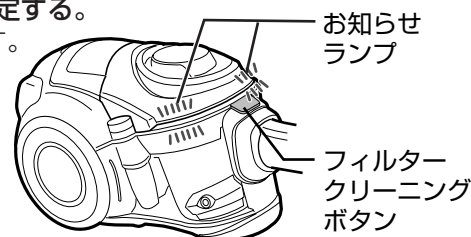
ごみ捨てセンサー感度の切り替えかた

ごみ捨てセンサーの感度を変えることにより、ごみ捨てサインのお知らせ時期をお好みで設定できます。

① **差込プラグをいったん抜いてから再度コンセントに差し込む。**

② **手元スイッチの「ブラシ切/入」** 6 ページ **を5秒以上押す。**
お知らせ音「ピッピッピッ」が鳴ります。

③ **「フィルタークリーニング」ボタンを押す。**
押すたびに感度が切り替わります。
(感度はお知らせランプの色で表します)

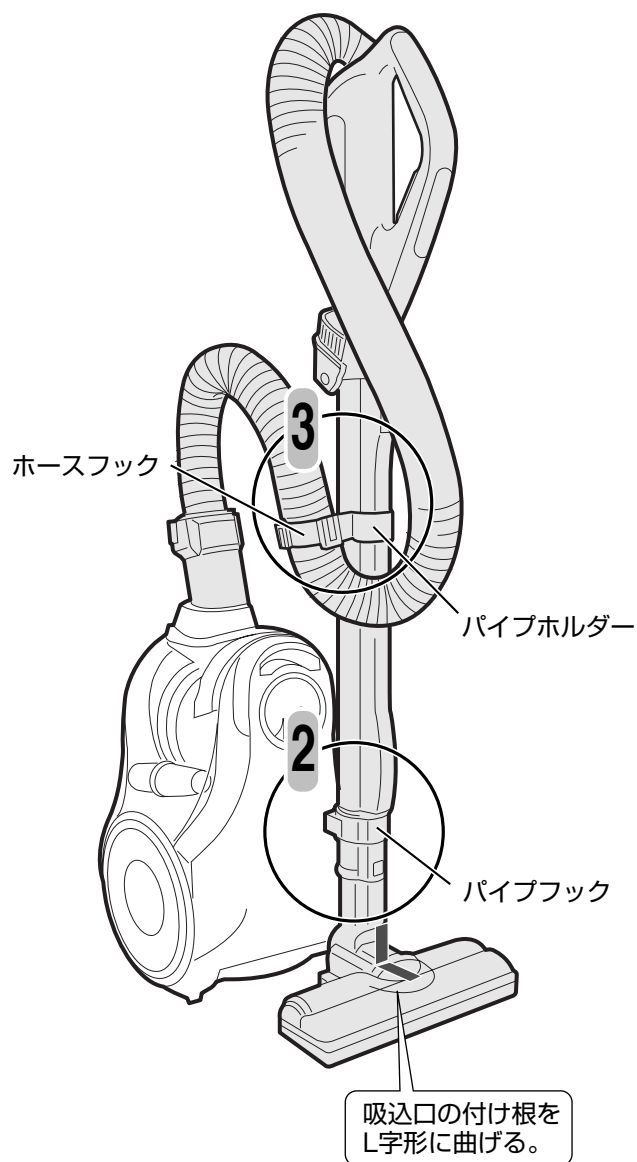
④ **「ブラシ切/入」を押して、決定する。**
お知らせ音「ピー」が鳴ります。

ごみ捨てセンサーの感度	お知らせランプ	ごみ捨てサインのお知らせ時期
標　準	紫点灯	ふつう
低　い	赤点灯	遅　い
高　い	青点灯	早　い

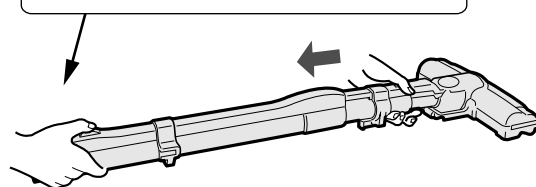
お掃除が終わったら

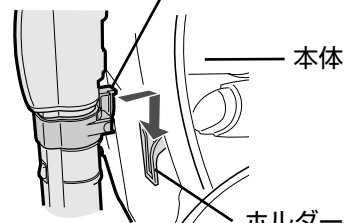
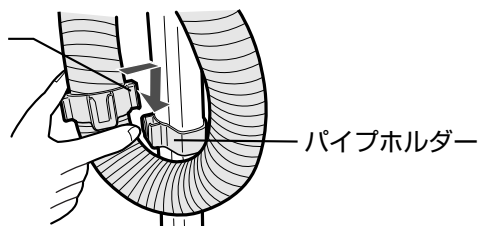
① お掃除が終わったら「切」ボタンを押し、運転を止め、差込プラグを抜く。
② 本体をしっかり固定し、差込プラグを持って電源コードを巻き取る。5 ページ

収納のしかた

スタンド収納

ホースフック
3
パイプホルダー
2
パイプフック
吸込口の付け根をL字形に曲げる。

1 ズームパイプを縮める。

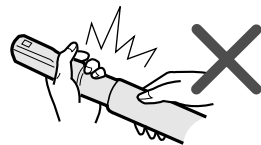
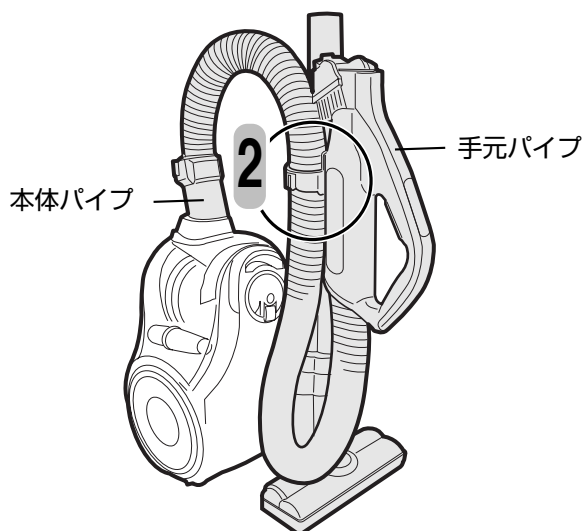
伸縮ボタンを押しながら、縮める。

2 本体を立てて、ズームパイプのパイプフックを本体底のホルダーに掛ける。

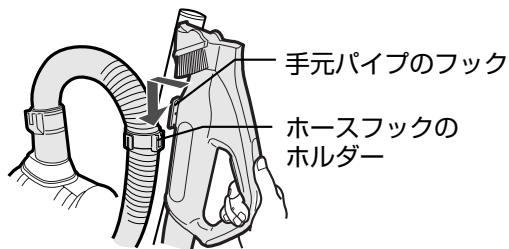
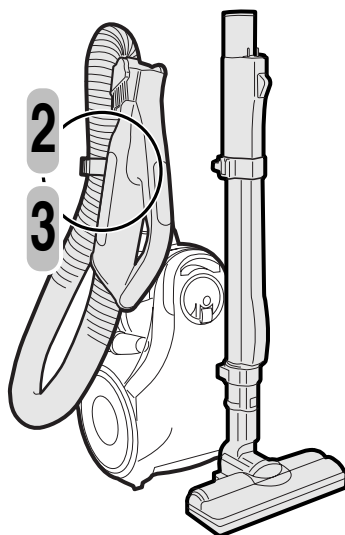
パイプフック
本体
ホルダー

3 ホースフックをパイプホルダーに掛ける。

ホースフック
パイプホルダー

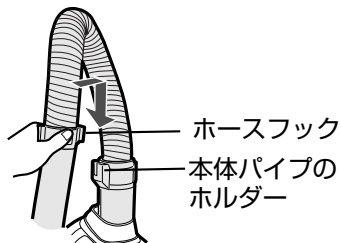
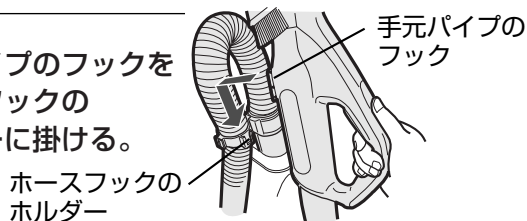
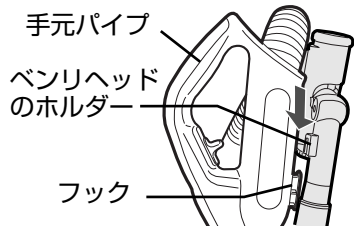
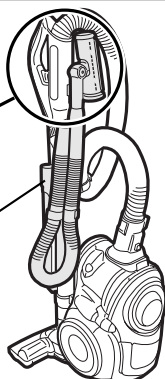
ホースフックの取り付けかた

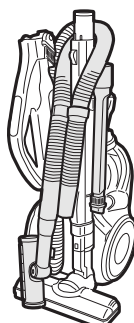
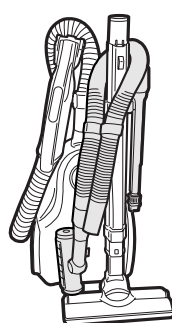
図のようにホース中央付近に、ホースフックの溝を本体側に向けて取り付けてください。

- 収納時、位置を調節しながら取り付けてください。
- たたみなどにすれない位置に取り付けてください。

- 収納状態のままで持ち運ばないでください。
  ホースやズームパイプが、はずれる場合があります。
- ズームパイプを縮めるときは、指を挟まないよう、ご注意ください。
- ズームパイプのパイプフックをホルダーに掛けた後は、ズームパイプを左右に揺らし、
  倒れないことを確認してください。

コンパクト収納 1

1 スタンド収納 ③ の状態からズームパイプ着脱レバーを引いて手元パイプをはずす。4 ページ

2 手元パイプのフックをホースフックのホルダーに掛ける。

コンパクト収納 2

1 スタンド収納 ② の状態からズームパイプ着脱レバーを引いて手元パイプをはずす。4 ページ

2 ホースフックを本体パイプのホルダーに掛ける。

3 手元パイプのフックをホースフックのホルダーに掛ける。

付属品を取り付けて収納することもできます

コンパクト収納 1　コンパクト収納 2

ベンリホースをズームパイプに掛ける。

ごみの捨てかた

衛生面から、お掃除のたびにごみを捨てることをおすすめします。

お願い

●ごみの種類によっては 「ゴミ捨て」ラインを越える前に吸い込みが悪くなり、クリーニングサインでお知らせする場合があります。10 ページ
ごみを捨てて、筒型フィルター・HEPA(ヘパ)クリーンフィルターを、お手入れしてください。16～18 ページ

「ゴミ捨て」ラインを越える前にごみを捨ててください。
一方に片寄って溜まっている場合も、ラインを越える前にごみを捨ててください。
そのまま使用を続けると、筒型フィルターにごみが付着し、吸込力が低下する場合があります。

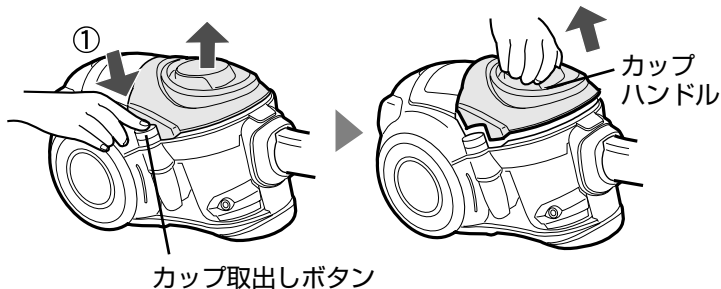
ごみ捨てセンサーがダストカップのごみの溜まり具合を検知し、ごみが溜るとお知らせしますので、その際はごみを捨ててください。11 ページ
そのまま使用を続けると、筒型フィルターにごみが付着し、吸込力が低下する場合があります。

ダストカップセットのはずしかた

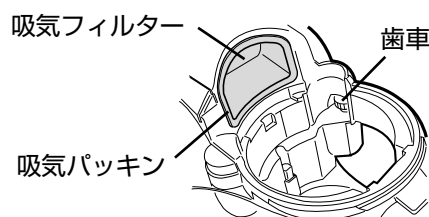
1 運転を止めて、差込プラグをコンセントから抜く。

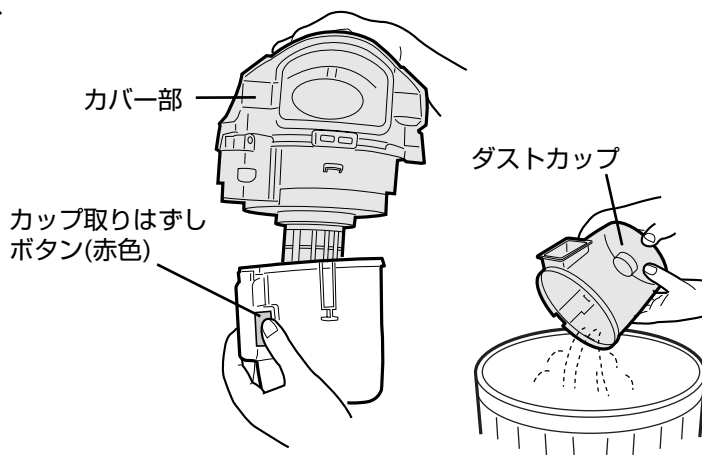
2 カップ取出しボタンを押して、ダストカップセットを取り出す。

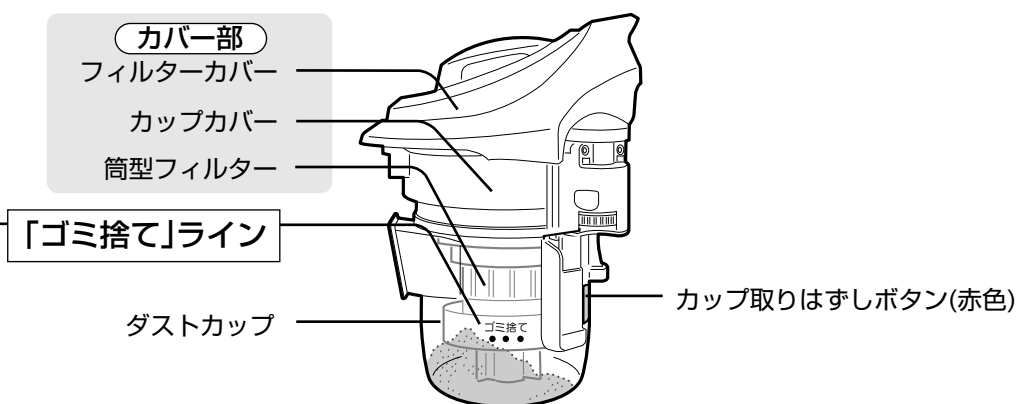
① カップ取出しボタンを押す。(ダストカップセットが少し浮き上がる)

② カップハンドルを持ちダストカップセットを引き上げる。

お願い
● 本体を立てた状態では、カップ取出しボタンを押さないでください。
ダストカップセットが飛び出し、危険です。

ダストカップセットをはずしたときは

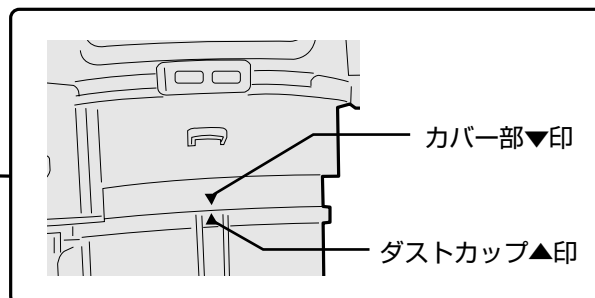
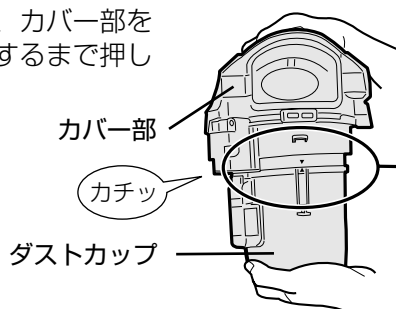
● 本体の吸気フィルターと吸気パッキンは取りはずせません。破らないでください。
● 歯車で手をけがしないようにご注意ください。

3 カップ取りはずしボタンを押して、ダストカップをはずす。

お願い
● はずすときにカバー部とダストカップから、ごみがこぼれることがあります。ごみ箱などの上ではずしてください。

4 ダストカップのごみを捨てる。

お願い
● ダストカップをごみ箱の中へ近付けて静かにごみを捨てると、ほこりの舞立ちが防げます。

ダストカップセットの取り付けかた

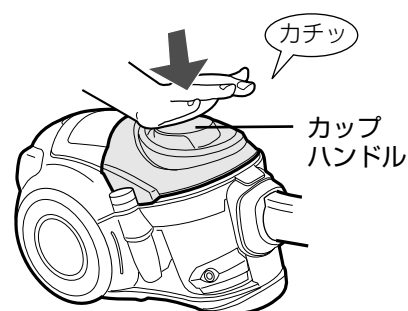
1 カバー部とダストカップを確実に組み立てる。

カバー部の▼印をダストカップの▲印に合わせて、カバー部を「カチッ」と音がするまで押し込む。

カバー部
カチッ
ダストカップ
カバー部▼印
ダストカップ▲印

- 必ずダストカップのごみを捨ててから組み立ててください。ごみが入っている状態ではカバー部が取り付きません。

2 ダストカップセットを本体に取り付ける。

ダストカップセットを本体に入れ、「カチッ」と音がするまでカップハンドルをしっかり押す。

- ダストカップセットは確実に取り付けてください。吸込力が低下したりモーターにごみが入るなど、故障の原因になります。
- ダストカップを本体に取り付けるときは、本体の収納部の底にごみや、異物がない状態にしてください。

筒型フィルターにティッシュ・髪の毛・ひも状のごみが巻き付いたら

筒型フィルターに巻き付いたごみを取り除く。

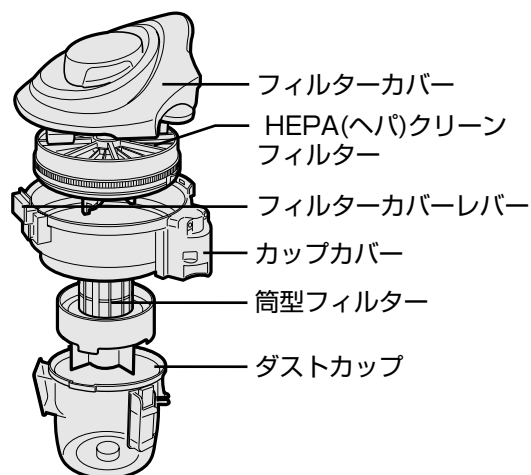
先のとがったもので取り除かないでください。
筒型フィルターを傷めます。

お手入れ

お手入れのさいは必ず電源を切り、差込プラグをコンセントから抜いてください。

こんなときは、ダストカップセットのお手入れをしてください。

- お掃除中にクリーニングサインが出たとき。10ページ
- 吸い込みが弱くなったとき。
- 運転音が変化したり、大きくなったとき。
- 筒型フィルターにごみがからみ付いたとき。
- ダストカップセットの汚れが気になったとき。

●付属のクリーニングブラシ以外でお手入れしないでください。故障の原因になります。

お手入れの前にしてください

1. 差込プラグを差し込み「フィルタークリーニング」ボタンを1秒以上押して、フィルター自動クリーニングをする。11ページ
2. フィルター自動クリーニング終了後、差込プラグをコンセントから抜く。

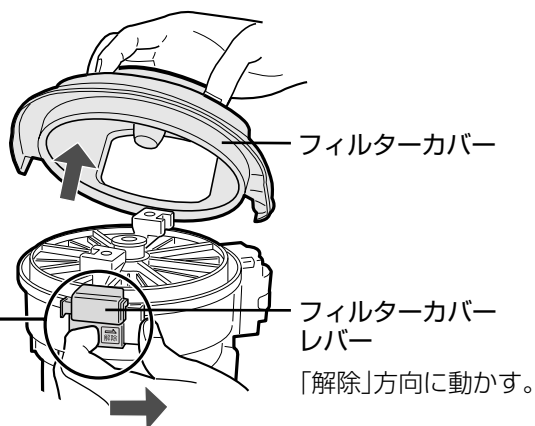
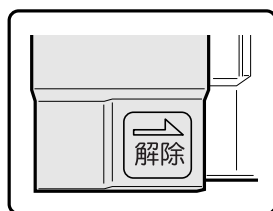
ダストカップセット

各部のはずしかた

はずすときにごみがこぼれる場合があります。新聞紙などの上に置いてはずしてください。

1 本体からダストカップセットを取り出す。 14ページ

2 フィルターカバーをはずす。

フィルターカバーレバーを「解除」方向に動かしてフィルターカバーをはずす。

3 HEPA(ヘパ)クリーンフィルターをはずす。

●格子部分を持たないでください。けがの原因になります。

4 ダストカップをはずす。14ページ

- 各部品を洗ったあとは、十分に乾燥させてから使用してください。
  水分が残ったまま使用すると、においの発生や故障の原因になります。
- お手入れに薬剤・漂白剤や温水などを使用したり、ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。

ダストカップセット（つづき）

各部のお手入れのしかた

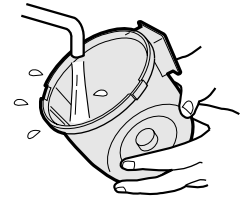
フィルターカバー

水または中性洗剤を含ませた布で拭き取る。

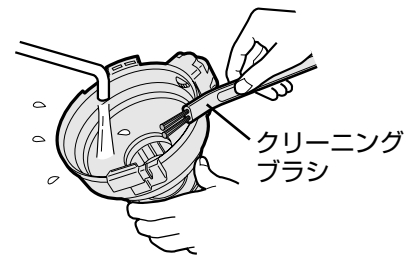
お願い

- フィルターカバーは水洗いできません。

ダストカップ

中性洗剤で洗う。

カップカバー(筒型フィルター)

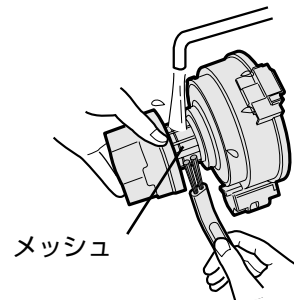
1 **付属のクリーニングブラシ** 5 ページ **でごみを取る。**

筒型フィルターにティッシュやひも状のごみが巻き付いた場合は(15 ページ)

2 **中性洗剤で洗う。**

筒型フィルターのメッシュは付属のクリーニングブラシでやさしくこすって洗います。

お願い

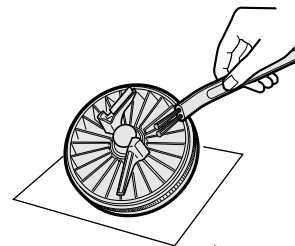
- **洗ったあとは、十分に乾燥させてから使用してください。水分が残ったまま使用すると、においの発生や故障の原因になります。**

乾燥時間目安　半日

HEPA(ヘパ)クリーンフィルター

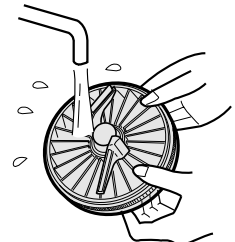
1 **付属のクリーニングブラシでごみを取る。**

新聞紙などの上でおこなってください。

お願い

- 取り除く際、先のとがったもの(つまようじなど)を使わないでください。HEPA(ヘパ)クリーンフィルターを傷めます。

2 **汚れが気になる場合は水洗いする。**

お願い

- フィルターは、クリーニングブラシで強くこすったり、指で強く押さないでください。破損の原因になります。
- 付属のクリーニングブラシ以外でお手入れしないでください。

3 **十分に乾燥させる。**

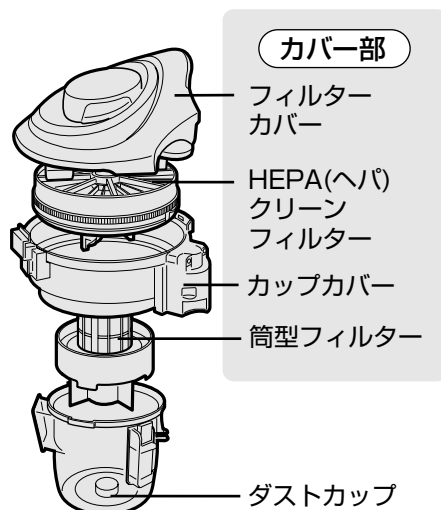
お願い

- 水を切り、風通しの良い所で陰干しし、十分に乾燥させてください。
  乾燥が不十分のまま使用すると、においが発生することがあります。

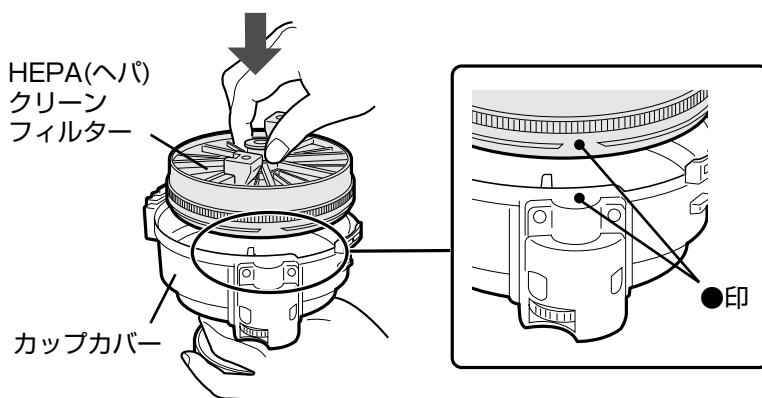
乾燥時間目安　1日

お手入れ

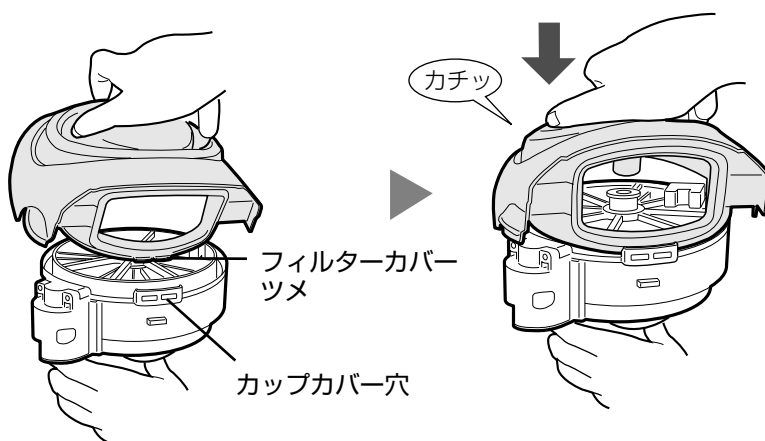
ダストカップセット（つづき）

各部の取り付けかた

1 **HEPA(ヘパ)クリーンフィルターをカップカバーに取り付ける。**

HEPA(ヘパ)クリーンフィルターの●印と、カップカバーの●印を合わせて取り付ける。

お願い

- HEPA(ヘパ)クリーンフィルターは、確実に取り付けないとフィルターカバーが閉まりません。

2 **フィルターカバーをカップカバーに取り付ける。**

フィルターカバーのツメをカップカバーの穴に掛けて、「カチッ」と音がするまで上から押し込む。

3 **カバー部とダストカップを確実に組み立て、ダストカップセットを本体に取り付ける。**

15 ページ

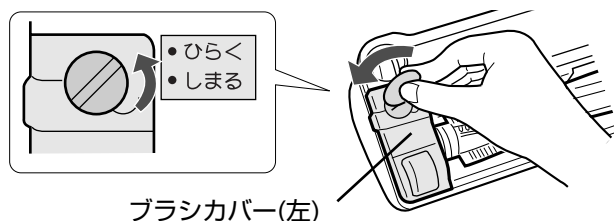
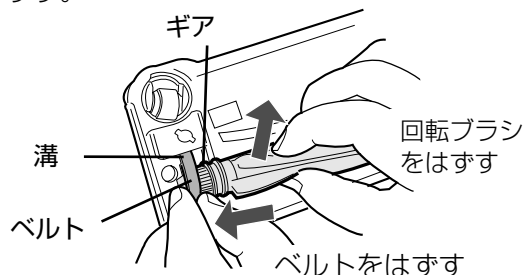
吸込口(回転ブラシ) 糸くず・輪ゴム・毛髪・ペットの毛などがからみついたとき

1

吸込口を裏返し、ブラシカバー(左)をはずしてから

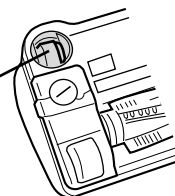
回転ブラシをはずす。

① コインなどで「ひらく」まで回して、ブラシカバー(左)をはずす。

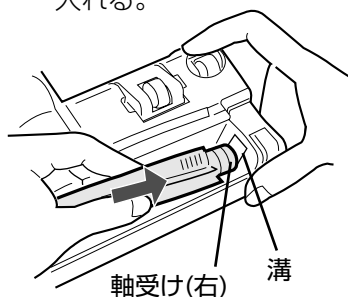
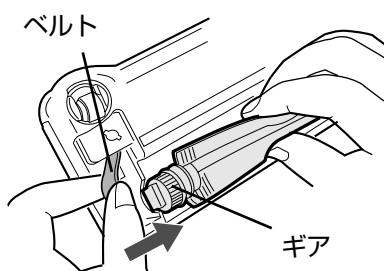
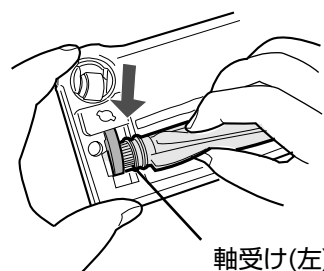
- 爪で回さない。けがの原因になります。
- 強く回さない。破損の原因になります。

② 回転ブラシを少し持ち上げ、溝からはずし、ベルトをギアからはずして、回転ブラシをはずす。

2

回転ブラシや自在車輪に付いた **糸くずや毛髪などを切り取る。**

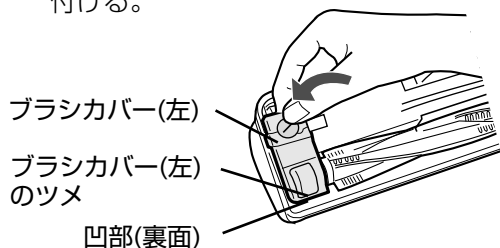
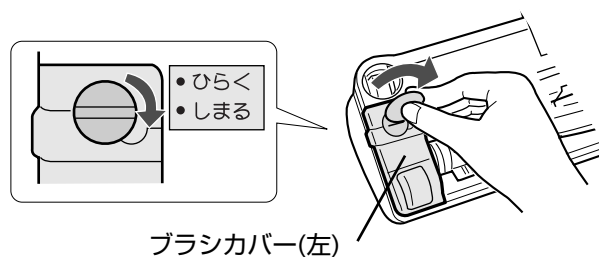
- 回転ブラシの汚れが気になる場合は、水洗いする。(吸込口ごと洗わないでください)
- 自在車輪など、回転ブラシ以外の部分は、絞った布で拭く。

自在車輪(左右2カ所)

3

回転ブラシを取り付ける。

① 軸受け(右)を溝に奥まで入れる。

② ギアにベルトをかける。

③ 軸受け(左)を溝に入れる。

4

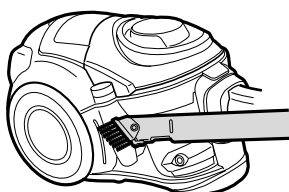
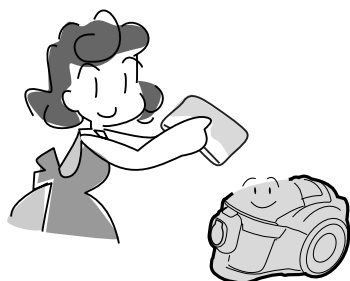
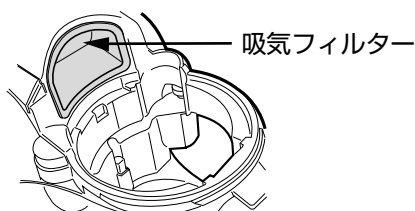
ブラシカバー(左)を閉める。

① ブラシカバー(左)のツメを吸込口裏面の凹部に掛けて取り付ける。

② 「しまる」まで回して、ブラシカバー(左)を閉める。

お手入れ

本体 汚れが目立ってきたときに

● **本体の汚れが目立ってきたときは、水または中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。**
ほこりが取れ、静電気も抑えられます。

シンナー・ベンジン類は使わないでください。
(変質や変色の原因)

● 本体側面の透明カバーの中に溜まったほこりは、2段伸縮すき間ノズルなどで、横のスリットから吸い取る。

● 吸気フィルターに付いたごみは、フィルターを傷付けないように、柔らかい布などで取り除く。

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは 持込修理

1. 「故障かな?」22 ページ を調べてください。
2. それでも異常があるときは使用をやめて、必ず差込プラグを抜いてください。
3. お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証書(別添)

● **保証期間…お買いあげの日から1年間です。**
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間中

● 修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

● 修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

● 当社は掃除機の補修用性能部品を製品の製造打切後、6年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ

● 修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

長年ご使用の掃除機の点検を!
このような症状はありませんか?

● スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある。
● コードを折り曲げると、通電したりしなかったりする。
● 運転中に異常な音がする。
● 本体が変形したり異常に熱い。
● こげくさい臭いがする。
● その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故の防止のため、使用を中止し差込プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検･修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れについての「ご相談」ならびに「ご依頼」および、万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
FAX送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。▶▶▶

シャープ　お問い合わせ

http://www.sharp.co.jp/support/

使いかたや修理のご相談

【お客様相談センター】

0120 - 078 - 178
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間（年末年始を除く）
●月曜～土曜：9:00～18:00
●日曜・祝日：9:00～17:00

■IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電　話	ファックス
06 - 6792 - 1582	06 - 6792 - 5993
〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

「修理品引き取りサービス」のご案内

「修理品引き取りサービス」とは、電話で修理依頼いただきますと、当社指定の運送業者がお客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

ご利用料金

※サービスエリア：日本国内地域。ただし、沖縄県全域(離島を含む)および鹿児島県奄美市・大島郡を除く。

■運送費

保証期間内	無料
保証期間外	1,000円＋梱包資材費＋代引き手数料

※梱包料を含む往復料金(税別)

■修理料金

保証期間内	無料(保証書記載の「保証規定」に準じます)
保証期間外	有料(修理内容により異なります)

※保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証書をご確認ください。

お申し込み

【お客様相談センター】(0120-078-178) にお電話でお申し込みください。

お引き取り

当社指定の運送業者がお引き取りに伺います。

■お引き取りの時間は、下記時間帯よりお選びいただくことができます。

午前中	12:00～14:00	14:00～16:00	16:00～18:00	18:00～21:00

■お引き取り日は、ご依頼日の翌日以降となります。
■18:00～21:00の時間帯は、土、日、祝日を除きます。
■交通事情などの理由によりご指定の時間にお伺いできない場合がございます。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。
※修理品は当社指定の運送業者が梱包箱を持参してお伺いし、梱包させていただきます。

修理・お届け

修理完了後、シャープエンジニアリング(株)よりご連絡いたします。

■ご連絡時にサービス料金(修理料金＋利用料)と発送日をご連絡いたします。
■当社指定の運送業者が修理完了品を、お届けに伺います。
■サービス料金(修理料＋利用料)を指定運送業者に、現金でお支払いください。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。

故障かな?

次のような場合は、故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

- 以下の処置をしても異常のある場合は、「保証とアフターサービス」20 ページをご覧のうえ、修理を依頼してください。

	こんなとき	次の点をお調べください	次の処置をしてください
電源・運転	お掃除中に赤色のランプの点滅と、お知らせ音が鳴り本体の運転が止まる (クリーニングサイン 10 ページ)	●ダストカップにごみが溜まっていませんか。	●ごみを捨ててください。 14 ページ
		●筒型フィルターや、HEPA(ヘパ)クリーンフィルターが目詰まりしていませんか。	●お手入れしてください。 16～18 ページ
		●ティッシュなどの大きいごみが、筒型フィルターに巻き付いていませんか。	●取り除いてください。 15 ページ
		●ホース・ズームパイプ・吸込口などに、ごみが詰まったまま長く使用していませんか。	●取り除いてください。
		上記の処置をしてもクリーニングサインが出る場合は、修理または本体内蔵の「静電フィルター」 4 ページ の交換が必要です。 お買いあげの販売店または、修理相談窓口へお問い合わせください。 21 ページ	
	手元スイッチを入れても運転しない	●差込プラグがコンセントに、またホースがホース差込口に確実に差し込まれていますか。	●確実に差し込んでください。
		●「ブラシ切/入」ボタンだけを押していませんか。	● (強/中) (やさしさモード) のいずれかを押してください。
本体	本体が異常に熱い	●筒型フィルターやHEPA(ヘパ)クリーンフィルターが目詰まりしていませんか。	●お手入れしてください。 16～18 ページ
		本体は運転時、40℃程度の温度になりますが、異常ではありません。	
吸込力・音	吸込力が弱い 運転音が変化した、大きくなった	●ダストカップにごみが溜まっていませんか。 ●筒型フィルターや、HEPA(ヘパ)クリーンフィルターが目詰まりしていませんか。	●お手入れしてください。 14～18 ページ
		●ホース・ズームパイプ・吸込口などにごみが詰まっていませんか。	●取り除いてください。
におい	本体や排気が臭う	●ダストカップにごみが溜まっていませんか。(ごみの種類によっては臭う場合があります)	●ごみを捨ててください。 14 ページ
		●筒型フィルターや、HEPA(ヘパ)クリーンフィルターを水洗いした後、十分に乾かしていますか。	●再度、各フィルターを水洗いし、十分に乾かしてから、ご使用ください。 17 ページ
	排気口からオゾンのにおいがする	●除菌イオンユニットで発生するオゾンのにおいがすることがあります。 オゾンの濃度はごくわずかであるため、健康上の問題はありません。また、すぐに分解するため、部屋に充満することはありません。	
ダストカップセット	ダストカップセットを本体に取り付けられない	●本体の収納部の底にごみがありませんか。	●取り除いてください。 15 ページ
		●カバー部をダストカップに正しく取り付けていますか。	●正しく取り付けてください。 15 ページ
	カバー部をダストカップに取り付けられない	●ダストカップの底にごみが溜まっていませんか。	●取り除いてください。 15 ページ
		●筒型フィルターにごみが巻き付いていませんか。	●取り除いてください。 15 ページ
		●カバー部の各部品を、正しく組み立てていますか。	●正しく組み立ててください。 18 ページ
吸込口・回転ブラシ	吸込口の動きが悪い	●自在車輪 4 ページ に毛髪などが巻き付いていませんか。	●取り除いてください。
	回転ブラシが回転しない 回転ブラシが止まる	●「ブラシ切/入」ボタンが「切」になっていませんか。	●「ブラシ切/入」ボタンを「入」にしてください。
		●毛髪や糸くずなどがからんでいませんか。 ●玄関マットなどをかみ込んでいませんか。	●運転を止めて差込プラグを抜いてから、取り除いてください。 19 ページ
		吸込口が密着するようなじゅうたんや玄関マットなどを (強/中) でお掃除すると、吸込口が吸い付いて自動停止機能がはたらき、ブラシの回転が止まることがあります。 7 ページ その場合いったん電源を切ってください。約5～6分すると、自動停止機能が解除されて使用することができます。	

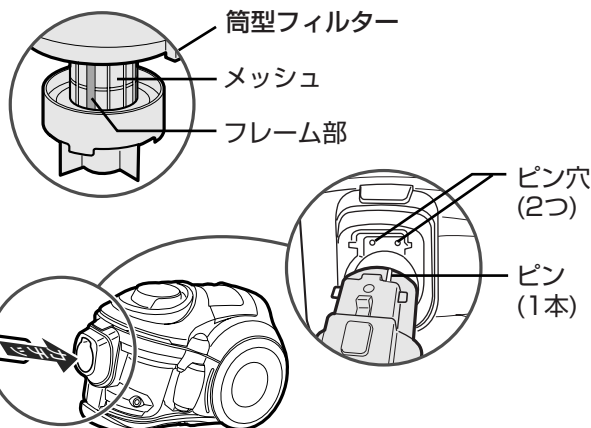
こんなとき		次の点をお調べください	次の処置をしてください
コード	コードが巻き取れない	●片寄っていたり、よじれていませんか。	●少し(1～2m)引き出して、再度巻き取ってください。
	差込プラグおよびコードが異常に熱い	●差し込みがゆるくぐらついていませんか。	●コンセントの修理を販売店にご相談ください。
		●延長コードを使用していませんか。	●コンセントに直接差し込んでください。
		差込プラグおよびコードは運転時40℃程度の温度になりますが、異常ではありません。	
音	自動クリーニングの音(カタカタ音)がおかしい	●大きな固形物を吸い込んでいませんか。	●取り除いてください。 14～18ページ
	吸込口を振ったり裏返すと(カラカラ)音がする	●ローラースイッチ(セーフティーストップ機構) 4 ページ の構造上、発生する音です。異常ではありません。	
その他	勝手にフィルター自動クリーニングが始まる	●「フィルタークリーニング」ボタンにホースなど、当たっている物はありませんか。	●当たっている物を取り除いてください。

よくあるご質問

掃除機お使いのお客様のご質問にお答えしました。

ご質問	お答え
運転後の「カタカタ」音は何?	●フィルター自動クリーニングがはたらいている音です。異常ではありません。 10 ページ
運転後の「カタカタ」音は止められないの?	●お掃除後のフィルター自動クリーニングを設定しないようにできます。 ●フィルター自動クリーニングを途中で止めることができます。 11 ページ
ごみはいつ捨てればよいの?	●ごみがゴミ捨てラインを超えたとき、またはごみ捨てサインがお知らせしたときは、捨ててください。 (衛生面から、お掃除のたびに捨てることをおすすめします 14 ページ)
除菌イオンはどこから出ているの?	●運転中に背面から出ています。 5 ページ
筒型フィルターのメッシュがフレーム部に一部浮き出ている	●フィルターの性能には問題ありません。
接続部のピンと、ピン穴の数が違う	●ピン(1本)とピン穴(2つ)の数が異なっていますが、異常ではありません。

筒型フィルター
メッシュ
フレーム部

故障かな?／よくあるご質問

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

掃除機 EC-VX2

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ

シャープのサイクロンは、独自の高速旋回方式でごみと空気を遠心分離。 空気をきれいにして、フィルターの目詰まりを抑えるのでごみが溜まってもパワーが持続し、電力の無駄を抑えます。紙パック方式は、ごみが詰まり空気の流れが妨げられるため、吸込力が低下しやすくなります。

※掃除機の吸込仕事率を測定した当社試験において、試験ごみ吸引前の初期データと、ダストカップ満量ラインまで試験ごみを吸引した時点でのデータとの比較。

掃除機の省エネのための上手な使いかた

◎掃除機をかける前にまずお部屋の片付けを！

掃除機をかけながら、部屋の片付けをおこなうと、スイッチの「入」「切」をくりかえすことになり、消費電力が多くなります。お掃除の前に部屋を片付け、一気に掃除機をかけると短時間で効率よくお掃除ができます。

◎場所に合わせたお掃除モードで！

「強」のみでお掃除しても効果が変わらないうえ、消費電力の無駄が生じることがあります。
じゅうたんは「強」、床やたたみは「中」、カーテンなどは「やさしさモード」など、上手に使い分けましょう。

仕　様

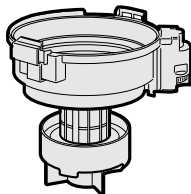
※吸込仕事率とは、JIS規格に定められている吸込力の目安で、最大(～最小値)を表示しています。
使用時の吸塵力は吸込仕事率以外に吸込具の種類や床材の違いなどによって異なります。
お掃除のさいは、ふさわしいポジションをお選びください。

項目	仕様
電源	100V　50-60Hz共用
消費電力	1000～約260W
吸込仕事率	470～約80W
運転音	51～約45dB
集じん容積	0.8L
質量	7.0kg（吸込口・ズームパイプ・ホース・本体含む）
本体寸法(mm)	幅250×奥行399×高さ257
コードの長さ	5m

別売品

お買いあげの販売店または、お近くのシャープ製品取扱店でお買い求めください。
(価格については、販売店にお問い合わせください)

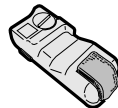
●ダストカップ
流通コード
217 137 0199

●カップカバー
(筒型フィルター付き)
流通コード
217 221 0437

●HEPA(ヘパ)クリーンフィルター
流通コード
217 337 0392

交換用別売品　摩耗時などの交換に

3 ページ

●回転ブラシ
流通コード
217 310 0208

●ブラシカバー(左)
流通コード
217 110 2521

●ブラシカバー(右)
流通コード
217 110 2520

●ローラースイッチ
流通コード
217 287 0106

●自在車輪
流通コード
217 287 0103

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。▶▶▶

シャープ　お問い合わせ

http://www.sharp.co.jp/support/

使いかたや修理のご相談

【お客様相談センター】
0120 - 078 - 178
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
受付時間（年末年始を除く）
●月曜～土曜：9:00～18:00
●日曜・祝日：9:00～17:00
■IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話	ファックス
06 - 6792 - 1582	06 - 6792 - 5993

〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72

「修理品引き取りサービス」のご案内

「修理品引き取りサービス」とは、電話で修理依頼いただきますと、当社指定の運送業者がお客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。
電話でのお申し込みにあたっては、21ページの「ご利用料金」「お引き取り時間」「修理・お届け」を併せてご確認のうえ、ご依頼ください。

お申し込み

【お客様相談センター】
(0120-078-178) にお電話でお申し込みください。

シャープ株式会社
本　社　〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
電化システム事業本部　〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号

この取扱説明書は、再生紙および、大豆油インキを使用しています。

TINSJA357VBRZ　08CK　②